

週 報

1999年5月9日 復活節第6主日
ファミリーデー合同礼拝(母の日)
巻20 6号

1999年度 教会主題

「互いに仕え合う」

聖句 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

ガラテヤの信徒への手紙 5章13節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. キリストの体なる教会形成に参加する。
 3. 教会創立20周年記念に備える。

日本キリスト教団 横浜港南台教会

横浜市港南区港南台7丁目8-29

郵便番号 234-0054

電話 045-833-5323

F A X 045-833-6616

振替 00290-4-13994

牧師 秋 吉 隆 雄

◇牧師室から◇

プロテスタント教会の場合、牧師は「神からの召命」という主観的な信仰と「適正な神学」を有しているという客観的な試験によって牧師になる。個性が認められ、人格的感化によって伝道する。それは、良い意味でも悪い意味でも「人間的」になる傾向が強くなる。カトリック教会の神父は、「キリスト告白」によって天国の鍵を託された初代教皇・ペトロから委任され、言わば「キリストの代理」的立場で宣教している。だから、グレーム・グリーンの小説「権力と栄光」の主人公のように、たとえどんなに「ダメ神父」であっても最後まで神に立てられて神父であるという信仰が成り立つ。そして、その信仰が事実、神父にしていく

私は立派な人格の牧師でないことをよく知っている。ところが、死に逝く人々との関わりにおいて、私の個性や人格を超

えて「牧師」であることを認められることがしばしばある。夫の遺影を見て「この方、誰？」というほど痴呆化した人が、私が牧師であることを最後まで分かり、臨終の祈りに対し「アーメン」と言って召された。また、言葉を出せない病床の人に、手を差し伸べると握りしめて離さない、手を自分の胸に押し当てて涙する。その時、何もできない自分の無力さを痛感するが、これらは、私個人ではなく「牧師職」への信頼である。

フェミニスト神学者・絹川久子氏は、主イエスの言葉と業は出会った人々との「相互行為的」関係の中で生まれたと力説する。私も牧師として受け入れられることによって牧師にさせられてきた。まさに「相互行為的」であった。

高齢社会になり、死に逝く人々との関わりは更に増してくだらう。自分の無力感に押しつぶされず、少しでも慰めと平安が伝えられるならば、私は大いに「牧師職」を活用させていただこうと思う。